

岳では、25万年前古阿弥陀岳火山の活動が始まり、その後、権現岳や編笠岳が活動した(八ヶ岳団研, 1988)。八ヶ岳の亜高山帯にはシナノヒメハナとタカネヒメハナが分布する。

火山には寿命があり、火山活動が活発な山体形成期を経て、やがて山体崩壊期に至る。火山活動の沈静化や停止は、植物が生育できる地形的条件が整えば、安定的な森林植生の発達を可能にする。非火山地域や火山活動による被害を免れた地域からのヒメハナカミキリ属の分布拡大がおきる。八ヶ岳のタカネヒメハナとシナノヒメハナも、苗場山と四阿山のフイリヒメハナもいずれも火山活動の収束、地形の安定した後に形成された針葉樹と広葉樹の混交林に生活が支えられてきたと考えられる。

謝辞

ヒメハナカミキリ属の採集情報を提供して下さった青木小四郎、浦山幸夫、林寛次、平井克男、平山洋人、北村民弥、栗原明雄、日下部良康、三浦康至、中林博之、武智昭一、土田孝、筒井謙、杉本 possible の各氏にお礼申し上げる。

2012年4月29日、神奈川県藤沢市在住のピドニア研究家の鈴木和利さんが急逝された。鈴木さんは、日本や台湾のピドニア相の解明をライフワークとし、各地で精力的に調査を続けてこられた。コトヒメハナ *P. lura* の調査は、ヒメハナカミキリ研究の面白さを多くのピドニア愛好者に教えてくれた。さらに、鈴木さんはその健脚をいかして、中部山岳地域の亜高山帯を調査し、そのピドニア相の解明に力を注がれた。その成果がシナノヒメハナの発見につながった。本報告でも木曾山脈や赤石山脈の採集記録を使用させて頂いた。南アルプスの光岳の調査が二人の最後の山行になってしまった。「次は聖岳」という約束は、果たせなくなってしまった。ご冥福をお祈りする。

引用文献

- 窪木幹夫, 2004. *Pidonia* 属シラネヒメハナカミキリの覚え書(3), ハクサンヒメハナカミキリの分類と分布について. 甲虫ニュース, (145): 21-25.
- 窪木幹夫, 1984. ヒメハナカミキリ属., 日本産カミキリ大図鑑, pp. 176-200. 講談社, 東京.
- Kuboki, M., 1988. Notes on the lepturine genus *Pidonia* (Coleoptera, Cerambycidae) from East Asia I. Description of *Pidonia tsukamotoi* Mizuno, 1978, and some notes on its vertical distribution and habits. *Elytra*, Tokyo, 16: 95-101.
- 松田松雄, 1984. 日本列島における約二万年前の植生図. 日生態誌, 34: 203-208.
- 水野弘造・細田倅市, 2010. 韮崎市(山梨県)の甲虫. 地域甲虫自然史, 6号., 205 pp., 日本甲虫学会, 大阪.
- 守田益宗, 1987. 東北地方における亜高山帯の植生史についてⅢ, 八甲田山. 日生態誌, 37: 107-117.
- 守谷伊智雄, 2001. 日本の火山地形. 米倉伸之・貝塚爽平・野上道男・鎮西清高編『日本の地形1総説』pp. 180-195. 東京大学出版会, 東京.
- 野手啓行・沖津 進・百原 新, 1989. 日本のトウヒ属バラモミ節樹木の現在の分布と最終氷期以降の分布変遷. 植生史研究, 6: 3-13.
- 中林博之・山屋茂人, 2001. 新潟県のヒメハナカミキリ—最近の話題から—. 長岡市立科学博物館報, 79: 1-10.
- 四手井綱英, 1952. 奥羽地方の森林帯(予報). 日本林学会関東支部会誌, 2: 2-8.
- 杉田久志, 1990. オオシラビソンの分布と発達史—針葉樹林帯欠如の成因—. 遺伝, 44(3): 49-52.
- Suyama, Y., Y. Tsumura & K. Ohba, 1997. A cline of allozymes variation in *Abies mariesii*. *Journal of Plant Research*, 110: 219-226.
- 相馬寛吉・辻誠一郎, 1987. 植生. 「日本第四紀地図解説」(日本第四紀学会編), pp. 80-86, 東京大学出版会, 東京.
- 武智昭一, 1988. ヒメハナカミキリ類の羽化の記録. 月刊むし, (214): 23-24.
- 武智昭一, 1997. フイリヒメハナカミキリを三国山脈四阿山で採集. 月刊むし, (314): 34.
- 津崎 満, 1993. タカネヒメハナカミキリ北アルプスの記録. 月刊むし, (263): 36.
- 山屋茂人, 1989. 新潟県湯沢町苗場山のカミキリムシ. 長岡市立科学博物館研究報告, (24): 35-53.
- 八ヶ岳団体研究グループ, 1988. 八ヶ岳山麓の第四系. 地団研専報, 第34号, 地学団体研究会, 東京.

(2014年4月4日受領, 2014年5月24日受理)



「日本の甲虫」

「日本の甲虫」という名前の本や報告はこれまでに多数あるものの、ある一定年齢以上の甲虫愛好家には、中根猛彦先生(一部は上野俊一先生が担当)が「新昆虫」と「昆虫と自然」の2誌に連載していた解説(1952~1990年, 一時中断あり)を思い浮かべる人が多いかも知れない。しかし、

北隆館の原色日本甲虫図鑑や講談社と東海大学出版会のカミキリの図鑑類が発行されてからは、一部の分類群を除きその連載は顧みられることは少なくなった。若手の愛好家・研究者にはその存在すら知らない人もいるようだ。確かにこの連載は、今では内容が古かったり、明らかな誤りを含んでいたりもするが、改めて見直してみると、どの分類群についても示唆的な内容が多く含まれ、その中には未解決の問題も含まれたりしている。図も

多く示されており解説も判りやすいので、ぜひともシリーズを揃えて持っておきたい。中には、セスジムシ科（現在は亜科）やコガシラミズムシ科などのように、現在でも最も詳しい解説として使用できるものも含まれている。今回は、その連載をリストアップしてみた。平野（2003）内にほとんど引用されているが、「日本の甲虫」シリーズだけを抜き出して複写する際に便利と考えりスト化した。

連載は143回に及び、「新昆虫」で47回の連載（第29回や第44回のように連載番号の重複や欠

落等があるので注意）後に、「甲虫学小誌」で4回、「昆虫と自然」で91回の連載が続いた。カミキリムシ科は36回の連載で、オサムシ・ゴミムシと並ぶ労作であるが、フトカミキリ亜科が含まれていない。

引用文献

平野幸彦, 2003. アマチュアのための甲虫類同定手引き用和文文献. 月刊むし, (385): 29-39.

(吉富博之 愛媛大学ミュージアム)

雑誌	著者	タイトル	年	分類群	巻	号	ページ
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(1)	1952	甲虫類の大別	5	6	36-41
新昆虫	中根猛彦・上野俊一	日本の甲虫(2)	1952	歩行虫の分類	5	8	43-50
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(3)	1952	歩行虫の分類	5	9	43-49
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(4)	1952	おさむし科	5	11	46-51
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(5)	1952	おさむし科	5	12	46-53
新昆虫	上野俊一	日本の甲虫(6)	1953	おさむし科	6	1	55-60
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(7)	1953	はんみょう科	6	2	38-43
新昆虫	中根猛彦・上野俊一	日本の甲虫(8)	1953	はんみょう科・おさむし科	6	4	47-52
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(9)	1953	ひょうたんごみむし科	6	5	45-52
新昆虫	中根猛彦・上野俊一	日本の甲虫(10)	1953	1-9の文献	6	7	43-49
新昆虫	上野俊一	日本の甲虫(11)	1953	ごみむし科	6	10	39-43
新昆虫	上野俊一	日本の甲虫(12)	1953	ごみむし科	6	11	38-45
新昆虫	上野俊一	日本の甲虫(13)	1953	ごみむし科	6	12	37-43
新昆虫	上野俊一	日本の甲虫(14)	1953	ごみむし科	6	13	46-51
新昆虫	上野俊一	日本の甲虫(15)	1954	ごみむし科	7	3	41-46
新昆虫	上野俊一	日本の甲虫(16)	1954	ごみむし科	7	4	54-59
新昆虫	上野俊一	日本の甲虫(17)	1954	ごみむし科	7	5	44-49
新昆虫	上野俊一	日本の甲虫(18)	1954	ごみむし科	7	6	50-55
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(19)	1954	甲虫類の大別	7	12	47-51
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(20)	1954	甲虫類の大別	7	13	37-41
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(21)	1955	しでむし科	8	1	50-55
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(22)	1955	しでむし科	8	2	47-51
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(23)	1955	しでむし科	8	3	51-55
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(24)	1955	ちびしでむし科	8	4	55-58
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(25)	1955	ちびしでむし科	8	7	54-57
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(26)	1955	でおきのこむし科	8	8	53-56
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(27)	1955	でおきのこむし科	8	9	50-53
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(28)	1955	でおきのこむし科	8	10	54-57
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(29)-1	1955	かみきりもどき科	8	11	51-55
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(29)-2	1955	かみきりもどき科	8	12	51-55
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(30)	1956	かみきりもどき科	9	1	55-57
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(31)	1956	ながはのみ科	9	2	51-55
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(32)	1956	ながはのみ科	9	3	53-55
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(33)	1957	はなのみ科	10	1	50-55
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(34)	1957	はなのみ科	10	3	53-58
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(35)	1957	はなのみ科	10	5	53-59
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(36)	1957	はなのみ科	10	7	55-61
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(37)	1957	はなのみ科	10	9	45-50
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(38)	1957	はなのみ科	10	11	52-58
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(39)	1958	はなのみ科	11	1	50-54
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(40)	1958	おおきのこむし科	11	3	45-51
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(41)	1958	おおきのこむし科	11	5	53-60
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(43)	1958	おおきのこむし科	11	7	59-63
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(44)-1	1958	おおきのこむし科	11	10	55-62
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(44)-2	1958	おおきのこむし科・こめつきもどき科	11	12	51-58
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(45)	1959	むかしげんごろう科・こつぶげんごろう科・げんごろう科	12	1	56-62
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(46)	1959	げんごろう科	12	3	53-58
新昆虫	中根猛彦	日本の甲虫(47)	1959	げんごろう科	12	7/8	47-52
甲虫学小誌	中根猛彦	日本の甲虫(47)	1964	げんごろう科 (続き)			1-4
甲虫学小誌	中根猛彦	日本の甲虫(47)	1964	げんごろう科 (続き)			2-8
甲虫学小誌	中根猛彦	日本の甲虫(47)	1964	げんごろう科 (続き)			3-9-12
甲虫学小誌	中根猛彦	日本の甲虫(47)	1965	げんごろう科 (続き)			4-13-16
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(2) (新シリーズ)	1973	はんみょう科	8	10	2-7
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(3) (新シリーズ)	1973	ひげぶとおさむし科・おさむし科	8	11	2-7
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(4) (新シリーズ)	1974	おさむし科	9	1	11-14
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(5) (新シリーズ)	1974	おさむし科	9	2	13-18

雑誌	著者	タイトル	年	分類群	巻	号	ページ
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(6) (新シリーズ)	1974	かみきりむし科1	9	3	11-14
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(7) (新シリーズ)	1974	かみきりむし科2	9	4	2-6
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(8) (新シリーズ)	1974	かみきりむし科3	9	6	4-8
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(9) (新シリーズ)	1974	かみきりむし科4	9	7-9	11
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(10) (新シリーズ)	1974	かみきりむし科5	9	8	7-11
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(11) (新シリーズ)	1974	かみきりむし科6	9	10	2-5
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(12) (新シリーズ)	1974	かみきりむし科7	9	11	4-7
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(13) (新シリーズ)	1974	かみきりむし科8	9	12	5-9
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(14) (新シリーズ)	1974	かみきりむし科9	9	13	4-7
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(15) (新シリーズ)	1975	かみきりむし科10	10	1	12-15
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(16) (新シリーズ)	1975	かみきりむし科11	10	2	5-9
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(17) (新シリーズ)	1975	かみきりむし科12	10	3	9-12
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(18) (新シリーズ)	1975	かみきりむし科13	10	4	7-11
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(19) (新シリーズ)	1975	かみきりむし科14	10	5	2-5
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(20) (新シリーズ)	1975	かみきりむし科15	10	6	2-6
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(21) (新シリーズ)	1975	かみきりむし科16	10	7	6-10
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(22) (新シリーズ)	1975	かみきりむし科17	10	8	2-6
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(23) (新シリーズ)	1975	かみきりむし科18	10	10	2-5
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(24) (新シリーズ)	1975	かみきりむし科19	10	11	2-5
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(25) (新シリーズ)	1975	かみきりむし科20	10	12	2-4
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(26) (新シリーズ)	1975	かみきりむし科21	10	13	5-8
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(27) (新シリーズ)	1976	かみきりむし科22	11	1	11-15
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(28) (新シリーズ)	1976	かみきりむし科23	11	2	5-9
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(29) (新シリーズ)	1976	かみきりむし科24	11	3	9-13
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(30) (新シリーズ)	1976	かみきりむし科25	11	5	2-6
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(31) (新シリーズ)	1976	かみきりむし科26	11	6	2-6
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(32) (新シリーズ)	1976	かみきりむし科27	11	7	7-11
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(33) (新シリーズ)	1976	かみきりむし科28	11	8	10-14
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(34) (新シリーズ)	1976	かみきりむし科29	11	9	2-6
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(35) (新シリーズ)	1976	かみきりむし科30	11	10	4-8
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(36) (新シリーズ)	1976	かみきりむし科31	11	11	11-14
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(37) (新シリーズ)	1976	かみきりむし科32	11	12	2-6
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(38) (新シリーズ)	1977	かみきりむし科33	12	2	2-6
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(39) (新シリーズ)	1977	かみきりむし科34	12	3	6-11
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(40) (新シリーズ)	1977	かみきりむし科35	12	4	2-6
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(41) (新シリーズ)	1977	かみきりむし科36	12	6	4-9
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(42) (新シリーズ)	1977	おさむし科4	12	7	5-8
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(43) (新シリーズ)	1977	おさむし科5	12	9	4-8
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(44) (新シリーズ)	1977	おさむし科6	12	10	6-12
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(45) (新シリーズ)	1977	おさむし科7	12	12	4-6
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(46) (新シリーズ)	1978	ひょうたんごみむし科	13	1	4-8
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(47) (新シリーズ)	1978	ごみむし科1	13	2	6-11
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(48) (新シリーズ)	1978	ごみむし科2	13	4	14-18
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(49) (新シリーズ)	1978	ごみむし科3	13	5	11-14
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(50) (新シリーズ)	1978	ごみむし科4	13	6	20-25
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(51) (新シリーズ)	1978	ごみむし科5	13	8	4-10
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(52) (新シリーズ)	1978	ごみむし科6	13	9	9-12
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(53) (新シリーズ)	1978	ごみむし科7	13	11	20-22
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(54) (新シリーズ)	1978	ごみむし科8	13	12	10-14
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(55) (新シリーズ)	1979	ごみむし科9	14	1	12-15
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(56) (新シリーズ)	1979	ごみむし科10	14	4	11-15
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(57) (新シリーズ)	1979	ごみむし科11	14	7	4-11
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(58) (新シリーズ)	1979	ごみむし科12	14	11	2-8
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(59) (新シリーズ)	1979	ごみむし科13	14	13	4-9
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(60) (新シリーズ)	1983	かみきりむし科等補足	18	2	14-18
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(61) (新シリーズ)	1983	かみきりむし科・おさむし科補足	18	4	21-24
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(62) (新シリーズ)	1983	おさむし科	18	6	14-18
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(63) (新シリーズ)	1983	おさむし科	18	8	11-14
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(64) (新シリーズ)	1983	おさむし科	18	10	20-23
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(65) (新シリーズ)	1983	おさむし科	18	13	22-24
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(66) (新シリーズ)	1984	おさむし科	19	2	46-49
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(67) (新シリーズ)	1984	おさむし科	19	8	17-20
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(68) (新シリーズ)	1985	おさむし科	20	4	11-15
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(69) (新シリーズ)	1985	おさむし科	20	9	18-22
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(70) (新シリーズ)	1985	おさむし科	20	11	22-26
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(71) (新シリーズ)	1985	おさむし科	20	13	15-19
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(72) (新シリーズ)	1986	おさむし科	21	2	19-24
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(73) (新シリーズ)	1986	おさむし科	21	4	18-24
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(74) (新シリーズ)	1986	おさむし科	21	8	23-25
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(75) (新シリーズ)	1986	おさむし科	21	10	19-22
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(76) (新シリーズ)	1986	おさむし科	21	12	22-25
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(77) (新シリーズ)	1987	おさむし科	22	1	24-26
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(78) (新シリーズ)	1987	おさむし科	22	6	16-18
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(79) (新シリーズ)	1987	おさむし科	22	9	25-29
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(80) (新シリーズ)	1987	おさむし科・こがしらみずむし科	22	11	26-30
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(81) (新シリーズ)	1987	みずすまし科	22	12	36-40
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(82) (新シリーズ)	1987	みずすまし科	22	13	27-29
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(83) (新シリーズ)	1988	むかしげんごろう科・こつぶげんごろう科・げんごろう科	23	5	28-32
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(84) (新シリーズ)	1988	げんごろう科	23	9	21-25
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(85) (新シリーズ)	1988	げんごろう科	23	10	19-23
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(86) (新シリーズ)	1989	げんごろう科	24	4	22-26
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(87) (新シリーズ)	1989	げんごろう科	24	9	18-24
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(88) (新シリーズ)	1989	げんごろう科	24	11	27-31
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(89) (新シリーズ)	1990	げんごろう科	25	1	26-31
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(90) (新シリーズ)	1990	げんごろう科	25	4	27-31
昆虫と自然	中根猛彦	日本の甲虫(91) (新シリーズ)	1990	水生食肉亜目リスト	25	10	22-28